第3113回 例会記録
２０１５年12月７日

甲府ロータリークラブ会報

甲府市相生２丁目２－17
電話　055－237－5475
www.kofu-rotary.gr.jp
info@kofu-rotary.gr.jp

世界へのプレゼントになろう

2015－'16年度 甲府RC会長テーマ「足元から」

会　長　進藤哲雄
副会長　由井久夫
副会長　細田　俊
幹　事　山口高明

12月14日 第3114回 例会プログラム

●前月の出席状況報告
●雑誌紹介
●2016年経済講演
　日本銀行甲府支店 支店長　谷口 文一 会員

本日のメニュー

松花堂弁当
Mixフライ（帆立・一口カツ・海老）
洋風蒸し卵
トマトマリネ
他

次回例会

12月23日（水）
年忘れ家族例会
於 甲府富士屋ホテル　点鐘 16:30
●年次総会
●懇親会 17:30より
●歳末助け合い募金

甲府ＲＣ携帯サイト
www.kofu-rotary.gr.jp

Rotary Song　我 等 の 生 業　ソングリーダー 坂本　力

会長挨拶

会　長　進藤哲雄



今月は疾病予防と治療月間です、私が子供のころ結核は不治の病とされておりましたが、今では適切に手当てすればそんなに怖い病気ではなくなりました。癌もあと何年かの後には克服される日が来ると思いますが、世界ではまだ医療環境が整わず先進国では当然治るべき病気で若い命が失われております。ポリオ撲滅ももう少しです、この月間を通じてこれらの事に関心を持ってください。

ＲＩより大口寄付者に対して賞状と記念品が届いております、鶴田会員と長田会員です、壇上へどうぞ。

本日は会員卓話として野村證券 森隆行会員に「歴史統計の推移から考える証券投資」と言うテーマで卓話をいただきます。株価は２万円をはさんだ動きをしておりますが、森会員の卓話で勉強させていただきます。

では今日の一句です。

久保田万太郎　湯豆腐や　いのちのはての　うすあかり

会長挨拶を終わります。

幹事報告

1）例会変更
　甲府東ＲＣ　12月18日（金）18:30
　　甲府富士屋ホテル　年忘れ家族例会
　　12月25日（金）　特別休会
　甲斐ＲＣ　12月21日（月）19:00
　　アピオ　年忘れ家族例会
　　12月28日（月）　特別休会
　甲府南ＲＣ　12月22日（火）18:30
　　古名屋ホテル　年忘れ夜間例会
　　12月29日（火）　特別休会
　甲府西ＲＣ　12月24日（木）18:30
　　古名屋ホテル　クリスマス家族例会
　　12月31日（木）　年末休会
2）先週に引き続き、世界大会・参加意向調査のアンケートを回覧しております。まだご記入されておられない方は、ご記入の程、よろしくお願い致します。
3）12月21日の例会は年忘れ家族例会の為12月23日（祝日）に変更となります。点鐘は16時30分、会場は甲府富士屋ホテルです。回覧を回しておりますので、ご家族の出席も合わせてご記入をお願い致します。
4）12月28日は特別休会となります。
5）本日の例会終了後、第７回の理事会を開催いたします。
6）ロータリーレート　12月　１ドル＝120円

出席報告

（敬称略）

（会員数　１１３名）

	出席者数	出席率
本日の出席	94/109	86.24％
前々回の修正	104/106	98.11％

（出席免除会員18名）

〔本日の欠席者〕
内海、柿原、岸本、木田、小林（照）、小林（日）、小柳、坂本、佐々木、阪口、清水、高野、高村（隆）、野原、松村（秀）
以上　15名

〔出席免除会員の本日出席者〕
飯島（忠）、長田（眞）、金丸、笹本、新海（照）、新海（治）、武田、田中（好）、内藤（悦）、深澤、宮城、山本（孝）、横山、西川（一）

〔他ＲＣに出席及びメークアップ会員名〕

11月28日	山梨第４分区ＩＭ	野口、鶴田
12月１日	ロータリー財団地域セミナー	野口
12月２日	ガバナー会議	野口
12月２日	ガバナーエレクト研修セミナー	高野
12月3日・4日	ロータリー研究会	野口、高野

■本日のゲスト

米山奨学生　鐘 佑希さん
交換学生　　ウルバニャック・ドリーヌさん

■今月のおよろこび（敬称略）

◎本人誕生日
　雨宮（俊）５日　佐藤　５日　小林（日）10日
　小柳　19日　横山　24日　大森　25日
◎夫人誕生日
　依田　１日　内藤（民）12日　笹本　13日
　岸本　17日　島村　18日　池谷　19日
◎結婚記念日
　田中（好）１日　角田　１日　丸茂（正）１日
　小松崎　１日　篠原　２日　深澤　３日
　新海（照）６日　高嶋　10日　笹本　15日
　天野　16日

■米山奨学金の贈呈

米山奨学生　鐘 佑希さん

■ホストファミリーに御礼と交換学生にお小遣いの贈呈

交換学生　ウルバニャック・ドリーヌさん

■会員卓話

「歴史統計の推移から考える株式投資」

森　隆行 会員（野村證券㈱甲府支店長）



①長く続いた円高トレンドはデフレの終焉とともに変化。

デフレ脱却を目指した安倍内閣。ここまではある程度期待に沿った状況。果たして本当にデフレを脱却しえるのか。トレンドは円安・インフレの方向に変わったことが確認できる。

②無制限・異次元金融緩和は景気刺激回復策だけの目的ではない。

国家債務の削減を今後どうするかという問題だが、個人金融資産が国家資産として移転してしまうということが歴史的に学ばれる。かなり近い将来、それは示現されよう。

③インフレと増税は、個人金融資産の国家への資産移転に他ならない。

したがって、この問題を解消するのは増税とインフレであり、日本円が現在の国際的貨幣価値を失う前に我々は手を打たなければならない。現在起きていることとしては、円安になっても貿易収支が赤字であり、今後は経常収支も赤字化する可能性が高いことも確認しておきたい。

④金融抑制政策とインフレタックスを理解し、対策を明確化する。

アベノミクスの決定打となっている日銀の国債買い入れでひとまず企業の利益は押し上げられた。しかしながら、それに伴う副作用の懸念が大きく迫っている。金融抑圧政策・インフレタックスという経済用語からそれを検証する。

⑤家計金融資産を健全に次世代に移転させる。それは我々の社会的使命。

以上のことから個人金融資産を健全に次世代に移転することがいかに大切かを確認する。我が国の将来は我々の仕事にかかっている。現在の我々の仕事の社会的使命度は極めて高い。

平成バブルが崩壊した後、我が国は国力を大きく下げ続けたにも関わらず、円高トレンドが続いた。それは一体どうしてだったのか。基本的には1990年以降はデフレの時代が続いた。消費が伸びずモノの価格が下がれば、基本的には経済のサイズダウンが起こり、そこで需給が一致し、経済が回復に向かうのが一般的。このときは通貨が一旦価値を下げ（円安）、輸入物価の上昇が起こるのでこの循環を促す要因となったりもする。

しかし、我が国はこの間、政府が国民から資金を借り経済を維持し続けた。その為、経済のサイズはＧＤＰ500兆円内外で維持され続けたにも関わらず、モノの価値だけ下がり続けた。すなわち、貨幣価値だけが上がり続けた。これがデフレと円高のスパイラルが20年以上続いた理由である。

また、米国を始めとした各国はその反対の状況であり続けている為、円高トレンドがより顕著に定着してきたわけである。特にその動きが顕著になった1998年以降のＧＤＰデフレーターと為替の関係に注目して欲しい。そして今、ようやくそのトレンドに終止符がつこうとしている。

貨幣価値と為替の関係を表すのが購買力平価である。日本は第二次オイルショック後からプラザ合意までの時期を除き、長期の円高トレンドが続いた。その間、実勢為替は企業物価（かつての卸売物価）ベースの購買力平価を円安の限界として推移した。この抵抗線を抜くか、この抵抗線自体が円安方向に向きを変えるかが、今後のポイントだ。ここで注目したいのは企業物価指数と長くパラレルの動きをしてきた輸出物価ベースの購買力平価が上向きになってきたことである。

日本銀行の国債買い入れについてであるが、マネタリーベースとは世の中に出回っている現金（銀行券と硬貨）と、金融機関が預金の払い戻しなどに備えて日銀に預けている「当座預金」の残高の合計で、資金供給量ともいう。要するに、日銀が国債を買うための資金は、お金を刷って作ってしまうということなので、日銀のバランスシートが拡大するということなのである。国債の売り手は民間金融機関であるから、保有国債の売却金額が貸出金によって市中に出回りやすくなり、経済の拡大が期待されるのである。但し、これは一般論であり、現在はその分が日銀の当座預金に積みあがっているだけといっても良い。そのような中、世界と比較した日銀の対ＧＤＰ比の資産残高は膨張するのである。

過去同じケースがあるが検証すると戦後の日本にあった昭和20年８月から25年12月に至る過程で3.36→284と、84.5倍のハイパーインフレが生じているのである。

様々な料金が現実にどのように急騰したか。戦争開始時から比べると、軒並み100～200倍になってしまっている。

戦前戦後の国家負債の国民所得比266％はこのようにハイパーインフレで帳消しになる。お金の量100倍、物価100倍、ＧＤＰ比負債比率100分の１、ドル円レート100分の１だ。

政府債務の国民所得比は終戦前に266％であったのだが、昭和21年には早くも73％となり、昭和26年にはほとんど無借金に近いといって良いほどに縮小するのである。この間の卸売物価の驚愕的上昇と比べると、「政府債務をインフレで帳消しにした」ことが十二分に理解できる。国民所得もこの間伸びるが、物価の上昇には追い付いていない。財産税とインフレで政府債務を軽減というよりほぼ解消した日本。要するに、国民の金融資産は預金封鎖で縛られている間に瞬く間に国家に「資産移転」してしまったのである。そして再び政府債務は国民所得比230％を超えてきたのである・・・。

では、どうしたらよいのでしょうか。

分散の方法は、資産・通貨・時間などがある。金利や為替や株価の変動リスクに対し､分散投資で緩和するのみならず、投資効果を上げる。結果的に贈与や相続を受けた次世代の方々は大喜びをする。これからは、家族の永遠の幸せを担保するためには、健全なリスクテイクが絶対に必要となるのである。

（敬称略）

ニコニコボックスご利用のかたがた

甲府ＲＣ

進藤　哲雄、山口　高明
森会員卓話楽しみです。よろしくお願いします。

野口　英一　ソウル国際大会の第１次締切りが15日です。今なら$130安く登録出来ます。ソウルに行きましょう！

雨宮　俊彦　大変遅くなりましたが、昨年度のクラブ報告書を皆様のボックスに入れさせて頂きました。よろしくお願い申し上げます。

由井　久夫　富士山が終日見えた絶好のGolf日和でした。飯嶋　均会員、初優勝おめでとうございます。

秋山　仁博　インフルエンザの時期になりました。年末は体に気をつけて下さい。

田辺　公久　ゴルフ同好会コンペ初参加させていただきました。これからもよろしくお願いします。

田中　司郎　一昨日のRCゴルフコンペ、パートナー（依田、磯部、加藤千典）に恵まれて、又年齢上位、シルバー等につき、準優勝させて頂きました。それにしても79才の小生が入賞とは、若い人のだらしない事。

飯嶋　　均　加藤吉一会員、小松崎会員、松村秀彦会員には先日のゴルフ、お世話になりました。おかげ様で…

土屋　和巳　飯嶋均会員優勝おめでとうございます。田中会員最年長ドラコンと準優勝おめでとうございます。

淡路　啓二　本日は、交換留学生のドリーヌも出席しております。お声掛けの程、宜しくお願い致します。

卓話 テーマ「歴史統計の推移から考える証券投資」野村證券株式会社甲府支店 支店長　森　隆行会員よろしくお願いします！

遠山　　薫、磯部　　優。山本　　静、高嶋　英一、興石　丈夫、井上　俊和、上原　勇七、山本　孝夫、加藤　吉一、丹沢　良治、五味　　晃、阿閉　正強、谷口　文一、田辺　公久、平嶋　育造、柴山　　聡、清水　元章、岡本　洋祐、林　　邦久、飯野奈津子、熊倉　浩高、加藤　千典、武田　與光、上原　重樹、鶴田哲嗣郎、安藤　耕治

本日ニコニコ金額　38口 38,000円
ポリオプラス資金へ繰入　3,800円
ポリオ資金累計額　81,200円

（会報委員　磯部　優）